公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	日立市子どもセンターさくらんぼ			
○保護者評価実施期間	令和8年9月3日	～	令和8年10月2日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	20	（回答者数）	13
○従業者評価実施期間	令和8年9月3日	～	令和8年10月2日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	9	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年11月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子さんと保護者が一緒に通所し、活動に参加	お子さんと保護者が一緒に通所し、信頼関係を築くことを基盤とし、お子さんが安心して様々なことに挑戦できるように意識しています。また、担当制により一人ひとりのお子さんの発達に合わせた支援計画を立て、お子さん、保護者、職員が一緒に過ごす日々の活動や連絡帳等を通して保護者の方の不安や子育ての悩みに親身に寄り添うことを意識しています。	お子さんと保護者の信頼関係を基盤としつつ、担当との信頼関係もさらに深め、お子さん一人ひとりにあった丁寧な療育を実施できるよう努めてまいります。また、視覚的な掲示等の工夫をし、見通しを持った自立的な活動を支えます。
2	関係機関との連携	日立市が運営している事業所であるため、行政との連携をスムーズに行うことができます。また、相談支援専門員だけでなく、併行通級先の幼稚園や認定こども園、他事業所とも情報共有することを意識しています。	引き続き、関係機関との連携のほか、職員間でも情報共有を行い、事業所全体、また関係機関も含めてお子さんやご家族を包括的に支援してまいります。
3	自然豊かな広い園庭がある。	起伏に富んでいる自然豊かな広い園庭を利用し、お子さんがのびのびと体を動かし、運動機能や感覚の発達につながるような支援を意識しています。	引き続き、それぞれのお子さんにあわせて、楽しみながら運動面の発達を促す支援を継続します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	室内に階段がある。	既存の施設を利用しているため、療育室内に階段があり、完全な撤去やバリアフリー化が建物の構造上難しいところがあります。	階段の角にクッション材を配置したり、職員による見守り・誘導体制および手すり等の点検を強化して安全配慮に努めます。
2	当所以外の子どもや地域住民との交流がない。	当所は保護者の方も一緒に通う事業所であり、ご家族によっては、対外的に療育施設を利用する理由を説明しづらいと考えている方も多く、積極的に当所以外のお子さんとの活動を行っていません。	当所は子育て支援センターと併設しています。療育が終わり、ご希望があれば、子育て支援センターの利用も可能です。子育て支援センターの職員とも連携しているので、安心して利用していただけたらと思います。
3			